



MARUTANE
Quality Seeds

インゲン

つるなし すじなし 丸莢 フレーバー 10^{テン}

M・Sサイズ専用、莢色・つや抜群、高在圃性・多収種

特 性

- ① 草姿がコンパクトで従来より1～2割密植できる収量性の高い品種です。莢曲がり少なく規格内収量が高く、莢色は鮮やかな濃緑色で光沢があります。
- ② 業務用を中心に安定した需要のあるM・Sサイズ専用種です。莢長は10cm前後です。莢の肥大が緩慢で、収穫期の幅が広いのが特長です。収穫は5～7日間隔の2～3回穫りか、一斉収穫にも適性があります。
- ③ 一斉収穫の場合は、7～10日おきに段まきして収穫は株刈りとします。莢もぎ調整作業は室内で行えます。熟期は、適期播種で収穫始めが53日位、一斉収穫の場合は58～63日が適期です。



栽培のポイント!

圃 場 土質は特に選びませんが、根の酸素要求量が多いので、排水が良く保水力もある肥沃な圃場を選定します。転換畑なら秋のうちに、スキ耕して土壤の乾燥・風化を促します。一般畑でも播種の1ヵ月前頃に堆肥を施し深耕して膨軟な土壤状態にしておきます。また、苦土石灰等でpHを5.5～6.3に調整します(120～150kg/10a)

元 肥 豆類は一般に少肥でよいと言われるようですが、菜豆の場合は比較的肥料の必要量が多いのが特長です。元肥は10a当たりの成分量で窒素15kg、リン酸20kg、カリ15kgを基準に施します。

うね立 草姿はコンパクトな品種で、一斉収穫をする場合は密植栽培とします。うね幅120cmで株間25～30cmの2条植とし、一穴1～2本立ちにします。2～3回収穫の場合は、やや疎植栽培にします。又、地温確保、土壤水分の安定化のためにマルチを使用します。

播 種 株当たり3～4粒ずつ播き、覆土は3cm位です。播種後の灌水は特に乾燥していなければ必要ありません。地温が25℃なら3～4日で発芽します。15～30℃の範囲で発芽可能ですが、霜には弱いので露地栽培では最終降霜日の5～7日前が播種の早限です。発芽後本葉が展開したら、株当たり1～2本に間引きします。10a当たりの播種量は2～5ℓです(約5,000粒/ℓ)。

誘 引 長さ1m位の杭を5mの間隔で打込み、地表から20cmの高さにPPテープか針金を張り、そこに株の中段をしっかりと誘引します。

追 肥 収穫は短期多収型なので、元肥主体の肥培管理を行いません。一斉収穫では追肥は基本的に必要ありません。2～3回収穫の場合は、収穫後ごとに窒素成分量で2kg程度を施します。

収 穫 熟期は適期播種で一斉収穫の場合58～63日を目安に、株ごと抜き取り収穫します。莢もぎ調整作業は室内で行えます。又、高温期の収穫遅れは莢質が悪くなるので適期収穫に努めます。2～3回穫りの場合は53日目位から順次収穫します。

下記標準栽培表を参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ハウス又はトンネル	●	○	×	—	—	—	—	—	—	—
露 地			●	○	×	—	—	—	—	—

● 播種 ○ 育苗 × 定植 — 生育 ◡ トンネル □ 収穫

